

いわた IWATA 市議会だより

平成 25 年
2013
9 月 1 日発行
No.42

発行／磐田市議会 磐田市国府台 3-1 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>
編集／議会報編集委員会 電話〈0538〉37-4822 ファックス〈0538〉37-4845 (議会事務局)

6 月定例会

市議会は、平成 25 年 6 月定例会を 6 月 13 日から 7 月 11 日までの 29 日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の 25 年度一般会計補正予算など 10 議案について慎重に審議しました。その結果、いずれも原案のとおり可決・同意しました。また、議会推薦の農業委員等会委員等を決定しました。

なお、市長の所信表明に対する代表質問は、6 月 20 日に各会派を代表して 5 名の議員が、一般質問は、6 月 20 日、21 日、24 日の 3 日間にわたり 14 名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをただしました。

主な内容 (ページ)

- 市長の所信表明に対する代表質問 (5 会派) 2 ~ 3
- 一般質問 (14 名) 4 ~ 9
- 子ども・子育て会議条例の制定 (説明・討論) 9
- 議会報告会の開催、審議結果、9 月定例会の予定 10

一 市政を問う一

一般質問 (要旨)

「住んで良かった！」と言えるまちづくり
社会教育 / JR 新駅設置

志政会 絹村和弘 議員 (一括質問)

まちづくり

質問 市総合計画の基本理念に沿う中で、まちづくりの推進や地域の諸問題を解決する新しい推進体制、拠点づくりの検討は。

答弁 地域課題を解決するための拠点施設である公民館やコミュニティセンターなどの再構築や、新たな組織づくりを検討していきたい。

質問 シルバー層に一番をつくる施策と、有償ボランティアの概念を導入する考えは。

答弁 地域活動の中で新たな施策の検討を進め、有償ボランティアの導入を図る方向性は理想的だと認識している。地域の実情が異なる中で、市が一律に進めることは難しいが、検討していく。

質問 「せいかつ応援倶楽部」を各地区版に発展させるため、地区社協を支援する考えは。

答弁 支援を要する方への支えの仕組みとして、地区社協版せいかつ応援倶楽部は有効と考えている。市社協とも協力し、実現可能で継続性のある活動は支援していきたい。

社会教育

質問 現代社会における社会教育の必要性について見解を。

答弁 社会教育は、特に社会の変化への対応や地域の課題解決に向けて必要不可欠と考える。今後は地域づくりや人づくり、市民が地域に根ざした活動を行う環境づくり等に重点的に取り組んでいきたい。

JR 新駅

質問 JR 新駅設置に向けての今後の見通しと課題は。

答弁 新駅設置は、周辺の開発状況、旅客需要を勘案して JR が判断することになっており、現段階では明確になっていない。課題は、早期の基本協定締結や財源確保、区画整理事業の推進と考えている。

